

2020年度(令和2年度)第1回びんご圏域活性化戦略会議 次第

日時：2020年(令和2年)7月9日(木) 15:00～

場所：福山市役所本庁舎6階第4応接室

(福山市東桜町3番5号) ※WEB会議

1 開会あいさつ(福山市長)

2 協議・報告事項

(1) 第2期びんご圏域ビジョン2020～2024について

(2) ウィズコロナ又はポストコロナを見据えた重点プロジェクトの今後の進め方について

① 住民の意識・行動変化に関するアンケート調査

② 重点プロジェクト2020

(3) 推進体制の強化(研究部会の再編)について

3 閉会

第1回 びんご圏域活性化戦略会議 出席者名簿

2020年(令和2年)7月9日

所属団体等	役職	名前
福山商工会議所	会頭	林 克士
三原商工会議所	副会頭	深山 隆一
因島商工会議所	専務理事	田中 洋平
府中商工会議所	専務理事	石川 裕洋
笠岡商工会議所	会頭	鳴本 哲矢
井原商工会議所	会頭	川井 眞治
公益財団法人ひろしま産業振興機構	福山支所長	藤田 淳一
福山大学	学長	松田 文子
福山市立大学	学長	田丸 敏高
尾道市立大学	学長	藤沢 毅
福山職業能力開発短期大学校	校長	板野 隆文
株式会社広島銀行	福山営業本部副本部長兼営業推進部長	岡田 浩一
株式会社中国銀行	常務執行役員備後地区本部長	継山 清隆
株式会社もみじ銀行	福山支店次長	片桐 君幸
株式会社日本政策金融公庫	福山支店長	林 武志
福山市農業協同組合	代表理事専務	占部 浩道
晴れの国岡山農業協同組合	常務	山部 慎一
公益社団法人福山観光コンベンション協会	専務理事	寺岡 千佳雄
一般社団法人尾道観光協会	会長	三宅 宏
福山市	市長	枝廣 直幹
世羅町	町長	奥田 正和
笠岡市	政策部長	山岸 雄一

部会長

株式会社広島銀行	公務営業部地方創生担当課長	佐藤 雄彦
福山市立大学	都市経営学部 教授	渡邊 一成
福山市社会福祉協議会	福祉のまちづくり課包括的支援担当次長	藤原 章弘

オブザーバー

広島県	地域力創造課政策監	桑原 強
岡山県	県民生活部市町村課 主任	二瀬 勝也

事務局

福山市企画財政局企画政策部	部長	中村 啓悟
福山市企画財政局企画政策部企画政策課	企画調整担当課長	横藤田 真三
福山市企画財政局企画政策部企画政策課	次長(地方創生担当)	影山 克行

2020年度（令和2年度）

第1回 びんご圏域活性化戦略会議

2020年7月9日（木）

1 第2期びんご圏域ビジョン 2020～2024（コロナ前） 【共有】

第2期ビジョンの全体像と重点プロジェクト

【将来像】豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域

(視点)	(分野)	(基本施策)	(取組の方向性)
経済	産業	圏域を支える産業の活 力向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域経済の好循環の促進 ● 圏域の強みを生かした成長産業への支援 ● 多様な人材の育成・確保 ● 多様な働き方の推進 など
	農林水産業	第一次産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 6次産業化・農商工連携の推進 ● 地域資源の圏域内流通の促進 など
	観光	戦略的な観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域の魅力を生かした広域観光等の推進 ● インバウンド観光の推進 など
都市機能	高度医療	高度医療の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師の確保・看護職員等の養成・確保 など
	都市基盤	広域的な都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通網の維持・確保 ● 公共施設の広域的な管理・運用等 ● 中心市街地の活性化等 など
	高等教育	高等教育機能の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度で専門的な技術支援に向けた環境整備 ● 知の拠点を活用した人材育成・情報発信
住民サービス	医療・福祉・介護サービス	医療・福祉・介護サービス等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケアシステムの充実 ● 障がいのある人が生き生きと暮らせる環境整備 など
	健康づくり		<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくりの推進
	出産・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを生み育てやすい環境づくりの推進 など 	
	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域防災を担う専門人材の育成・充実 など 	
	環境・エネルギー	暮らしを支えるネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物の広域処理 ● 再生可能エネルギーの地産地消 など
	行政サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● システムの共通化等による行政サービスの向上 など 	
	地域振興	地域資源を活用した圏域の魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 定住人口等の増加に向けた情報発信・環境整備 ● デマンド交通等の移動手段の充実 ● 大学との連携による地域振興 など
歴史・文化・教育・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史・文化・教育の振興 ● 誰もがスポーツを楽しめる機会の創出 		
高等教育	高等教育機能の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域全体をマネジメントできる人材の育成 	

【重点プロジェクト】

I びんごイノベーションエコシステム形成支援PJ

- 地域商社機能の調査分析
- フクビズによる創業支援
- プログラミング体験など

II 広域観光・交流PJ

- インバウンド観光
- スポーツツーリズムなど

III 医療連携強化PJ

- 医療版ワーケーションの研究
- 医療現場における女性活躍など

IV 行政サービス効率化PJ

- A I ・ R P A 導入支援
- 内部事務系システム共通化の研究など

2 ウィズコロナまたはポストコロナを見据えた 重点プロジェクトの今後の進め方【協議】

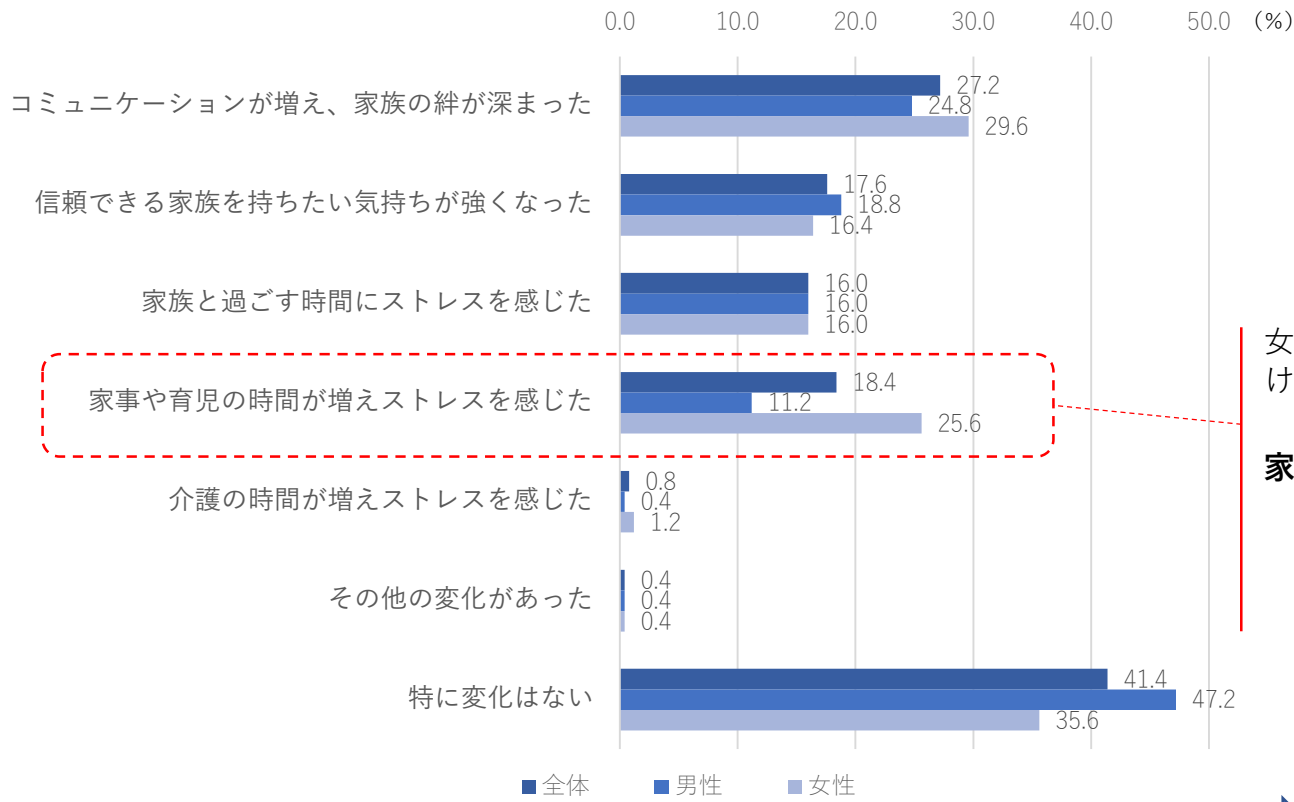
住民の意識変化等

新型コロナウイルス感染症による住民の意識・行動変化に関するアンケート調査 (概要版)

実施概要

・インターネット調査により2020年5月29日～6月1日に実施。備後圏域の18歳～49歳までの住民500人から回答。

1. 家族との関係の変化（昨年比）



女性を、子どもや就業の有無等でグループ分けした場合

家事や育児の時間が増えストレスを感じた

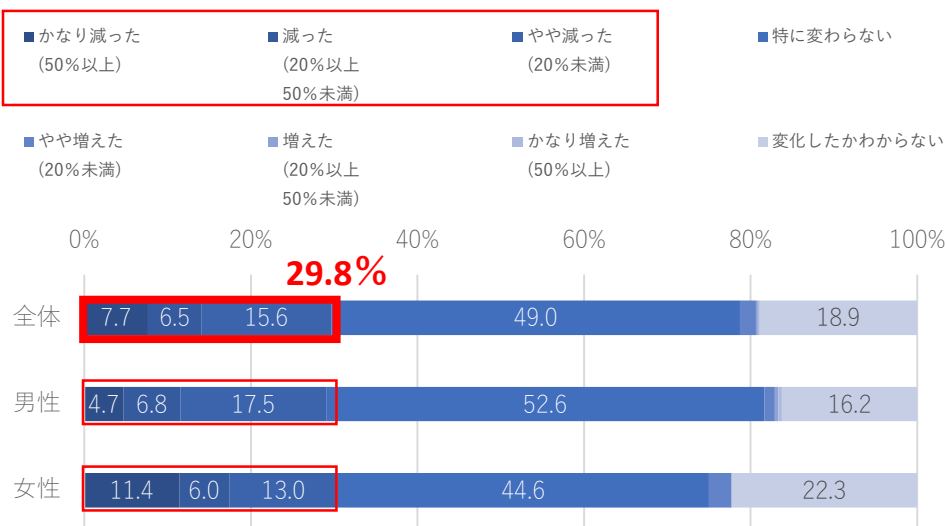
- 1位：子育て専業主婦 62.5%
- 2位：子育て共働き女性 41.7%
- 3位：シングルマザー 22.2%



自粛期間の中、
子育て専業主婦のうち約6割が
ストレスを感じていた

2. 個人収入の変化について

個人収入の変化(SA)



個人収入の変化（業種別）(SA)

	かなり減った (50%以上)	減った (20%以上 50%未満)	やや減った (20%未満)	特に変わらない	やや増えた (20%未満)	増えた (20%以上 50%未満)	かなり増えた (50%以上)	変化したかわからない	計
農業・林業・漁業	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建設業	4.5%	9.1%	9.1%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%	22.7%	100.0%
製造業	4.1%	5.2%	23.7%	48.5%	3.1%	0.0%	0.0%	15.5%	100.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%
情報通信業	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	100.0%
運輸業	8.3%	4.2%	29.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
卸売・小売業	4.9%	12.2%	12.2%	46.3%	0.0%	2.4%	0.0%	22.0%	100.0%
金融・保険業	0.0%	6.3%	18.8%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	100.0%
不動産業	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
飲食店・宿泊業	18.8%	25.0%	6.3%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	100.0%
医療・福祉	8.2%	2.7%	12.3%	54.8%	1.4%	0.0%	0.0%	20.5%	100.0%
教育・学習支援業	3.8%	0.0%	15.4%	53.8%	3.8%	0.0%	0.0%	23.1%	100.0%
複合サービス事業	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%
その他サービス業	22.0%	5.1%	10.2%	45.8%	0.0%	0.0%	1.7%	15.3%	100.0%
上記以外の業種	0.0%	5.9%	5.9%	70.6%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%

43.8%

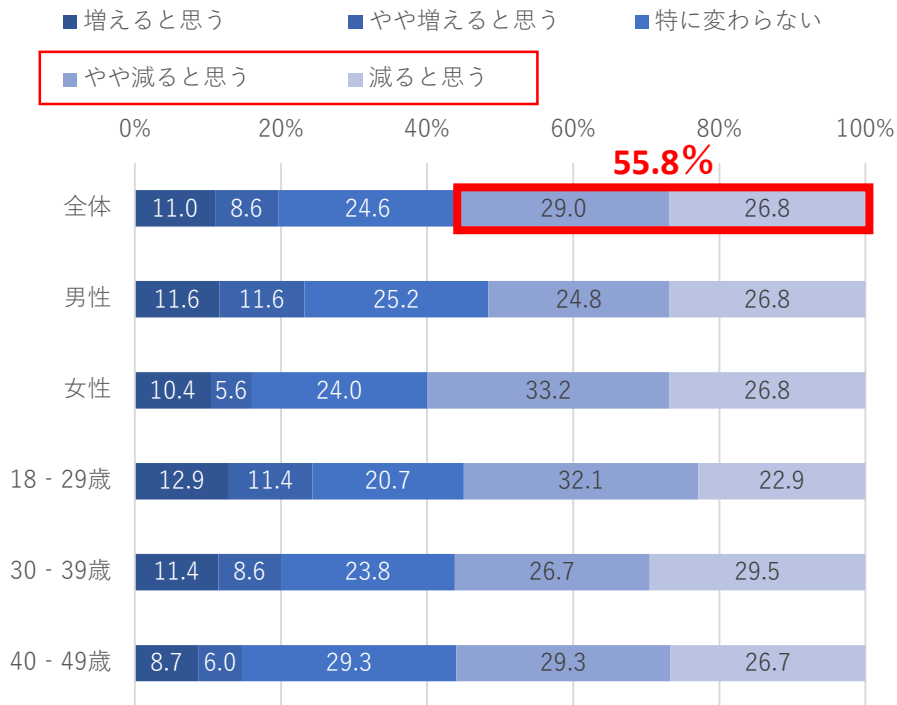
・個人収入の変化について聞くと、約3割が減ったと回答。業種別にみると、飲食店・宿泊業で、20%以上減少した者が特に多く、43.8%となっている。

⇒ 特に飲食店や観光（宿泊業）が打撃を受けており、人の流れを取り戻すことが重要

⇒ 今後は製造業や運輸業などの動向を注視する必要がある。

3. 外食や飲食店について

飲食店などでの外食の頻度（昨年比）(SA)



飲食店などのサービスで実施してほしいこと(MA)

	n	(テイクアウト事業の実施)	配達の確保	デリバリーの確保	店の外での飲食スペースなど	オールの確保	隔りの確保	ゆとりのある席の間隔	シヨンの設置	席の間の設置	(非接触)の導入	キャッシュレス決済	その他	特にな
全体	500	56.8	38.6	23.8	51.6	25.4	49.2	1.0	11.2					
性別	男性	250	46.0	35.6	22.0	46.0	22.0	50.4	0.8	14.8				
	女性	250	67.6	41.6	25.6	57.2	28.8	48.0	1.2	7.6				
年代	18 - 29歳	140	61.4	46.4	26.4	54.3	23.6	54.3	0.0	10.7				
	30 - 39歳	210	58.1	39.5	26.7	52.4	25.7	50.0	1.4	11.0				
	40 - 49歳	150	50.7	30.0	17.3	48.0	26.7	43.3	1.3	12.0				

- ・昨年と比べた飲食店などでの外食の頻度について聞くと、約6割が減ると思うと回答。
 - ・飲食店などのサービスで実施してほしいことでは、「テイクアウト事業の実施」56.8%、「ゆとりのある席の間隔の確保」51.6%、「キャッシュレス決済の導入」49.2%と続く。
- ⇒**テイクアウト・デリバリーに新たに参入する事業者への支援、ゆとりのある席の間隔の確保に向けた特区の活用などが必要である。**

4. 考え方や行動の変化

感染拡大の収束後の考え方や行動の変化（昨年比）(MA)

		n	家族の重要度が増す	都会に魅力を感じるかな場所	公共の交通機関の活用が	健康への関心が高まる	自宅外での運動機会が	自宅での運動機会が	消費費が減る	趣味に投資するものなど	ネットショップでの購入	SNSなどが増える	メディア接触（テレビ、	その他	知らない意識や行動は変わ	わからない	(%)
全体		500	26.2	14.4	24.6	31.2	17.6	14.8	18.6	43.6	30.0	0.0	11.4	7.4			
性別	男性	250	22.4	12.4	27.2	29.2	17.2	14.0	18.4	38.0	24.4	0.0	14.0	7.6			
	女性	250	30.0	16.4	22.0	33.2	18.0	15.6	18.8	49.2	35.6	0.0	8.8	7.2			
年代	18 - 29歳	140	26.4	15.0	33.6	35.0	17.1	18.6	21.4	40.7	34.3	0.0	8.6	7.9			
	30 - 39歳	210	28.6	14.3	23.3	30.0	21.9	13.3	19.0	52.9	29.5	0.0	9.5	5.7			
	40 - 49歳	150	22.7	14.0	18.0	29.3	12.0	13.3	15.3	33.3	26.7	0.0	16.7	9.3			

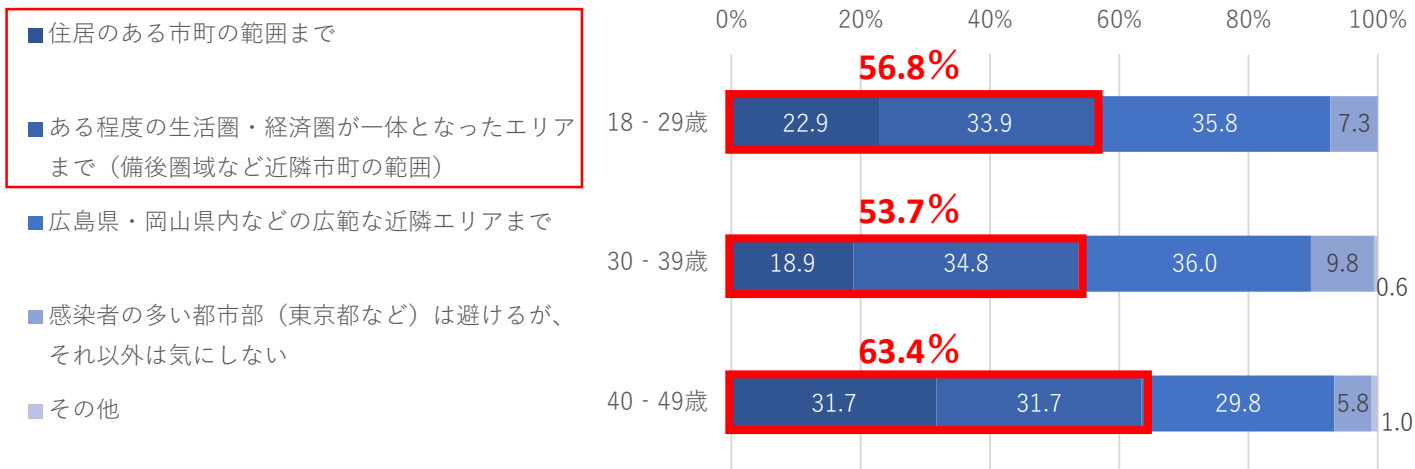
- ・感染拡大の収束後の考え方や行動の変化では、「ネットショップでの購入が増える」43.6%、「健康への関心が高まる」31.2%、「メディア接触が増える」30.0%と続く。
- ・年代による差を見ると、「公共交通は避け、自家用車や自転車の活用が増える」について、若い世代（18 - 29歳）ほど高く、40 - 49歳と比べると15%の差がある。

5. 観光について

感染拡大収束後、何がしたいか（1位から3位）(SA)

	n	間を大切にしたい	家族（友人、恋人）と過ごす	旅行に行きたい	楽しむ（趣味、参加）	イベント（トナリ）	（カラオケ、映画館）	娯楽施設（行きたい）	外食したい	たのしみ	買いもの購入	貯蓄（今後は）	その他	特になし (%)
1.1位	500	15.6	33.0	7.4	5.8	11.2	5.6	14.4	0.8	6.2				
2.2位	500	12.8	17.6	9.2	13.6	20.0	9.0	8.8	0.4	8.6				
3.3位	500	11.4	11.8	11.0	14.0	16.0	11.4	11.4	0.4	12.6				

行動範囲の程度（エリア）の変化(SA)

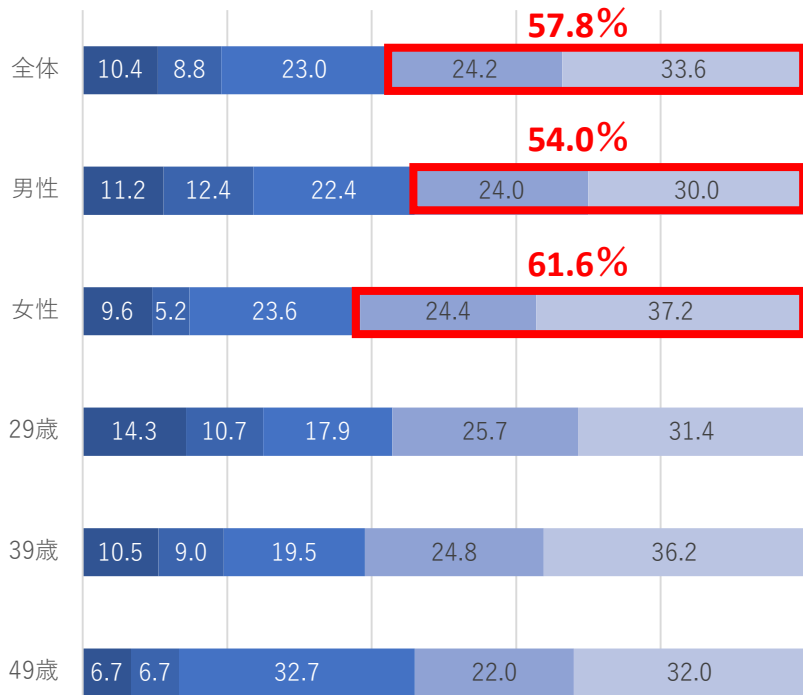


旅行など観光に行く頻度（昨年比）(SA)

■ 増えると思う ■ やや増えると思う ■ 特に変わらない

■ やや減ると思う ■ 減ると思う

0% 20% 40% 60% 80% 100%



収束後の日本人観光客の受入れについての考え(SA)

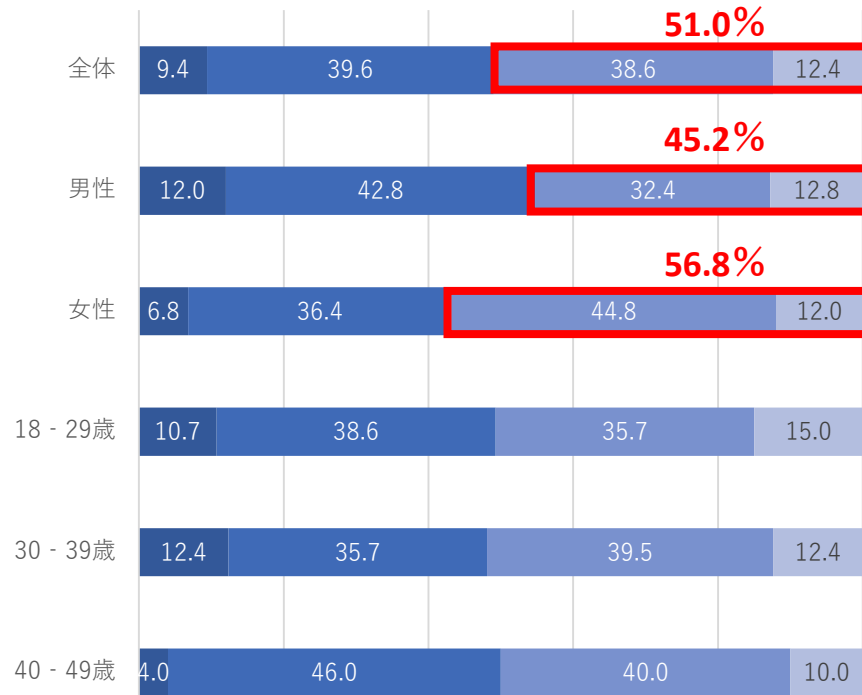
■ 積極的に受け入れるべき

■ 受け入れるべき

■ あまり来ないでほしい

■ 来ないでほしい

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 感染拡大の収束後、何がしたいかを1位から3位までの優先順位で聞くと、1位は「旅行に行きたい」で33%となっている。
- 今夏以降の行動範囲の程度（エリア）を聞くと、約6割が備後圏域など近隣市町の範囲までと回答。広島県や岡山県内までに範囲を広げると約9割に達する。

⇒ 旅行など観光に行く頻度は減少するものの、旅行へのニーズは高い。

⇒ 行動範囲が絞られる中、この機会に地域の魅力を再発見・発信し、圏域内の周遊促進につなげる必要がある。

⇒ 一方、観光客を受け入れることに抵抗感を示す層が一定程度存在する。

6. 今後の社会の取組や働き方について

今後、社会全体としてどのような取組が重要になるか（1位から3位）(SA)

	n	感染症対策の強化	災害への備え	高齢者・障がい福祉の充実	子育て支援の充実	雇用の確保	働き方改革の推進	地域活性化のための経済対策	ICTの活用など（教育環境の整備）	その他	あてはまるものはない(%)
1.1位	500	27.8	5.0	1.6	9.0	17.4	12.8	13.4	8.0	0.4	4.6
2.2位	500	14.2	9.0	3.8	8.8	16.8	17.6	11.4	12.8	0.2	5.4
3.3位	500	13.2	11.4	4.2	9.6	12.4	17.2	13.6	10.4	0.2	7.8

感染拡大収束後の働き方はどうあるべきか(MA)

	n	テレワークの定着	WEB会議の積極的な活用	兼業・副業の推進	退勤時間（フレックスタイム制）の導入	生活実態にあわせた出退勤時間の導入	休暇制度の積極的な取得	その他	変化の必要はない(%)
全体	500	38.6	33.4	27.4	43.6	45.8	0.4	20.8	
性別	男性	250	34.4	32.4	28.8	38.4	44.0	0.4	23.6
	女性	250	42.8	34.4	26.0	48.8	47.6	0.4	18.0
年代	18 - 29歳	140	47.9	42.9	32.1	49.3	50.7	0.0	15.0
	30 - 39歳	210	37.1	30.0	27.6	43.8	48.1	0.5	21.0
	40 - 49歳	150	32.0	29.3	22.7	38.0	38.0	0.7	26.0

・ 今後、社会全体としてどのような取組が重要かを聞くと、「感染症対策の強化」で27.8%と多く、「雇用の確保」17.4%、「地域活性化のための経済対策」13.4%、「働き方改革の推進」12.8%と続く。

・ 感染拡大の収束後の働き方はどうあるべきかを聞くと、「休暇制度の積極的な取得」が45.8%と多く、「生活実態にあわせた出退勤時間の導入」43.6%、「テレワークの定着」38.6%、「WEB会議の積極的な活用」33.4%と続く。

⇒ 感染症対策と地域経済活性化の取組（生産性向上など）の両立が必要。そのためには、3密回避のためのテレワーク、WEB会議などICTの活用拡大が重要となる。

⇒ また、雇用の確保に向けては、働き方改革の推進にも注力する必要がある。

○今後、備後圏域の活力を向上させていくために必要だと考える取組（主なもの）

1 「ICTの活用」に関すること

- 事業者のICT導入支援
- 非対面営業への切り替え支援
- ICT企業の誘致とICT技術者の育成

2 「働き方改革」に関すること

- 働き方改革（テレワーク，在宅勤務，副業，先端技術の導入 など）

3 「人材の確保」に関すること

- 企業の採用に関する支援（WEB説明会，WEB面接）
- 企業誘致や産業活性化による雇用の確保
- 官民一体となった企業の紹介，人員確保

4 「地域資源の情報発信」に関すること

- 圏域の特色，地域資源など競争力のあるテーマの情報発信強化
- 地域資源の有効活用，特に観光資源
- 食の情報発信
- 人の交流の活性化

重点プロジェクト2020 × ウィズコロナ・ポストコロナ

重点プロジェクト2020 × ウィズコロナ・ポストコロナ

重点プロジェクト	主な取組
<p>1 びんごイノベーションエコシステム形成支援PJ</p>	<p>(1) 経済循環の促進, 稼ぐ力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域商社機能の調査分析 . . . P 2 0 ・ 地域資源の高付加価値化 (デニムプロジェクト・ワインプロジェクト) <p>追加 ICT環境の整備など . . . P 2 1 ~ 2 2</p> <p>(2) 人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラミング体験 ・ ものづくり大学 <p>追加 ICTを活用した人材確保の取組 (WEB説明会等の情報発信強化) . . . P 2 3</p> <p>(3) 新事業の創出支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フクビズによる創業支援
<p>2 広域観光・交流PJ</p>	<p>(1) 圏域の資源をつなぐ広域観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンド観光 <p>追加 スポーツツーリズム</p> <p>追加 圏域内周遊 (観光) の促進 (地域資源の磨き上げ, 情報発信強化) . . . P 2 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特区制度によるエリアマネジメントの共有 . . . P 2 7

重点プロジェクト	主な取組
<p>3 医療連携強化PJ</p> <p>追加</p>	<p>(1) 医療人材確保に向けた共同研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療版ワーケーション制度の研究 <p>(2) 医療現場における女性の活躍推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学医学部や医療機関等と連携したセミナー等の実施 <p>(3) 養成進学前のキャリアデザインの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏域での暮らしと医療現場で働くイメージの情報発信等 <p>(4) 第2波への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドライン（家庭編・職場編）の共有・・・P28
<p>4 行政サービス効率化PJ</p> <p>追加</p>	<p>(1) AI・RPAの導入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> チャットボットの導入 <p>(2) 内部事務系システム共通化の研究</p> <p>(3) オンライン行政サービスの拡充・・・P29</p>

※斜体・網掛け部分の概要を次ページ以降で説明。

地域商社機能の調査分析

昨年度実施した「びんご圏域経済循環促進策検討業務報告書」に基づき,
3つの視点で施策を検討

視点1 すべての市町に共通して強みがある産業の活用

施策の方向性

- 6市2町すべてに共通する強みのある産業
「教育, 保健衛生・社会事業(病院, 診療所, 介護・福祉施設等), その他のサービス(娯楽施設等)」
- これらを生かし, **保健衛生・社会事業**, その他のサービスの分野で**共同事業**を展開する。

① 地域をまたぐ共通商品券等の検討(通院時に医療機関周辺で消費を促す取組)

- 医療機関と小売店, 飲食店等のサービス業が連携することにより, 高齢者を中心として消費を促進。

→【取組案】各市町の医療機関, 小売店, 飲食店等で利用できる共通商品券

・・・関係機関: 商工会議所, 行政の経済部署

② 圏域市町のサービス業が連携した共同イベントの実施

- 圏域市町のサービス業が連携して共同イベントを継続的に行い, 地域内での消費拡大を促進。

→【取組案】圏域内周遊(観光)の促進(おすすめコースの発信, 飲食店や道の駅等と連携したスタンプラリー)

・・・関係機関: 道の駅, 行政の観光部署

施策の方向性

① 素材型産業分野と機械産業分野で共同事業

- 素材型産業分野（鉄鋼，非鉄金属，金属製品）と機械産業分野（はん用・生産用・業務用機械や電子部品・デバイス）を共通の強みの産業とする市町が多くある。
- これらの産業分野が共同事業を展開し，それぞれの地域の強みの産業を強化していくことが考えられる。

→ 【取組案】 共同商談会やビジネスマッチング，地域外への販路拡大（インサイドセールスの促進等），人材育成の共同実施 など
 ※各取組へのWEBの活用 ・・・関係機関：行政の経済部署，商工会議所等

産業分野	複数市町で強みがある産業	強みがある産業が共通する市町
素材型産業分野	鉄鋼	福山市，笠岡市
	非鉄金属	井原市，府中市，世羅町，神石高原町
	金属製品	三原市，尾道市
機械産業分野	はん用・生産用・業務用機械	福山市，井原市，三原市，尾道市，府中市，世羅町
	電子部品・デバイス	福山市，笠岡市，井原市，三原市

② 共同事業で「農業」を強化

- 笠岡市，井原市，世羅町，神石高原町が「農業」を強みとしている。
- はん用・生産用・業務用機械の集積する市町があるため，食品加工機械の生産・メンテナンス等を地域企業も担える。
- 地域で加工した食品を地域の小売業，宿泊・飲食サービス等で販売することで，農産品に付加価値をつけることも重要。

→ 【取組案】 共同での地域外への販路拡大，高付加価値な農産品の共同ブランド化 など
 ※各取組へのWEBの活用 ・・・関連機関：行政の農業部署，JA等

産業分野	複数市町で比較優位な産業	比較優位な産業が共通する市町
第1次産業	農業	笠岡市，井原市，世羅町，神石高原町
第2次産業	はん用・生産用・業務用機械	福山市，井原市，三原市，尾道市，府中市，世羅町
第3次産業	小売業	福山市，笠岡市，三原市，尾道市，府中市，世羅町
	運輸・郵便業	福山市，笠岡市，井原市，三原市，尾道市，府中市，世羅町
	宿泊・飲食サービス業	福山市，尾道市

施策の方向性

① 観光等と連携したデニム産業の競争力強化

- デニムを中心とした繊維製品分野が集積している。
- また、はん用・生産用・業務用機械産業が集積していることから、デニム製造に必要な機械も地域内で生産・調達・修理等を担う可能性についても検討する。
- これにより、繊維製品分野の競争力を更に強化させる。
- また、繊維製品を強化しつつ、小売、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業等の観光関連のサービス産業と結びつけることで、関連企業の強化にもつなげる。

→ 【取組案】 共同商談会、ビジネスマッチング、地域外への販路拡大、デニムツアーの実施 など

※各取組へのWEBの活用

・・・関係機関：デニム関連企業、行政の経済部署、観光協会等

産業分野	比較優位な産業	比較優位な産業が共通する市町
デニム	繊維製品	福山市、井原市、府中市、神石高原町
機械分野	はん用・生産用・業務用機械	福山市、井原市、三原市、尾道市、府中市、世羅町
観光関連分野	小売業	福山市、笠岡市、三原市、尾道市、府中市、世羅町
	運輸・郵便業	福山市、笠岡市、井原市、三原市、尾道市、府中市、世羅町
	宿泊・飲食サービス業	福山市、尾道市

⇒ 上記の施策に取り組むためには、地域の卸売機能が重要な役割を果たすが、備後圏域には卸売業が強みである市町がない

⇒ そのため、関連する機能として、**備後圏域における地域商社機能を検討**していくことが重要

② 地域商社機能の調査分析

- 圏域内には、金融機関が実施する地域商社事業やDMOなどが存在する。
- こうした現状を踏まえ、今後、圏域内に必要な地域商社機能を検討する

→ 【取組案】 地域商社機能の研究会をタスクフォースとして結成：7月～10月

メンバー：(株)広島銀行、(株)中国銀行、(株)もみじ銀行、商工会議所、大学、行政（福山市）

+ オブザーバー：日本政策投資銀行（DBJ）、圏域内の地域商社（DMO、DMC）



ICT環境の整備 (ハード)

1 目的

- 新型コロナウイルスの感染拡大によって、経済活動の変革が迫られる中小企業のICT環境整備を支援
- ICTを活用した生産性向上や働き方改革の推進など、ポストコロナを見据えた圏域経済全体の成長へとつなげる

2 概要

- ICTの活用など産業支援を強化した「フクビズ」や「産業支援コーディネーター」が中小企業に寄り添う支援
- アドバイスをもとに、オンライン化などに係る補助金を活用
- 福山市の企業が代表となり、圏域内企業とグループを構成することで、補助率・限度額が拡充

3 事業イメージ

伴走型支援

フクビズのオンライン等による相談の強化

- 広島銀行、中国銀行と連携

+

びんご産業支援コーディネーターの拡充

- ICT等を専門とする新たなコーディネーターの追加



補助金の活用

オンライン化支援

- 事業のオンライン化によって、業績を好転させる取組に対して補助
- WEB会議やテレワークの導入、ECサイトの構築、オンライン化に向けたコンサルティング費用 など

経営基盤強化支援

- IoTの導入などによる経営課題の解決や生産性の向上の取組に対して補助
- 生産性向上のためのセンサーの活用、クラウドサービスの利用、IoTなどの導入・活用に向けたコンサルティング費用 など



※圏域でのグループ申請可能 (補助率優遇)

- 福山市の企業が「代表」「グループの構成員の2分の1以上を占める」ことが条件

【補助率の例】

1社	: 3分の2	限度額	50万円
5社	: 4分の3	限度額	350万円
10社以上	: 4分の3	限度額	1,000万円

ICT導入支援 (ソフト)



— ICT企業の拠点整備 —

SoftBank

- ✓ ソフトバンク株式会社が福山市に技術開発拠点を整備
(2020年7月1日～)
- ✓ 同社のエンジニアが常駐し, 市内外企業と連携した地域の課題解決に資する「LABO (ラボ)」を展開

主な活動

ものづくり×ICT LABO ～生産性向上・働き方改革～

○企業のICT化促進に向けた スキルアップセミナー

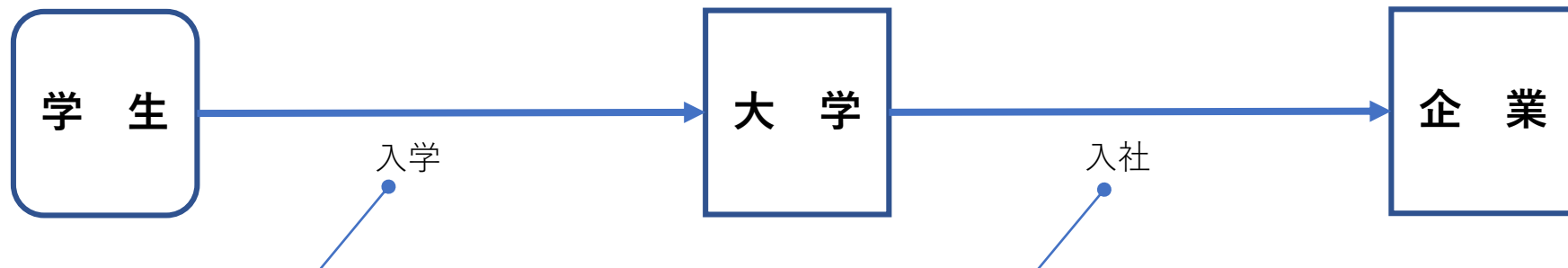
- ICT導入事例紹介 (業務への活用, オンラインインターンシップなど)
- 最新技術の体験 (IoTデバイスを用いたデジタル化体験など)

○先端技術見本市の開催

- 多種多様な先端技術の見本市
- 先端技術を持つ企業と圏域内企業のマッチング

ICT化ロールモデルを創出し,
圏域経済のデジタル化を促進

ICTを活用した人材確保の取組 (WEB説明会等の情報発信強化)



WEBオープンキャンパス など

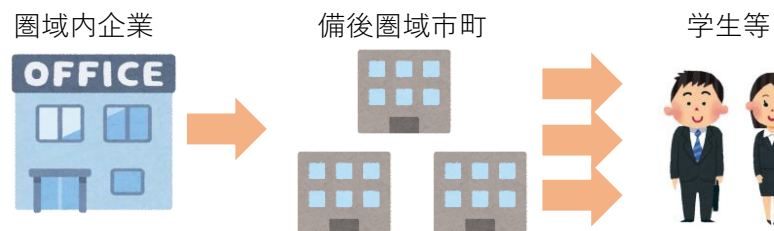
- 動画による大学紹介
- WEB進学相談会 など
(実施大学)

福山大学, 福山平成大学, 福山市立大学
尾道市立大学 (予定), 県立広島大学 (予定)



WEB説明会, WEB面接

- 各企業で開催するWEB説明会等の情報を各市町のHPに集約し発信



オンラインインターンシップ

- 直接体験重視の声が約6割, オンラインによるインターンシップの参加希望も8割超 (※民間調査による)
- 業種によっては, インターンシップのオンライン化が課題

圏域内周遊（観光）の促進 ～リトリートで、コロナのストレスに癒しを～

1 目的

- ・ 今後の旅行者の行動範囲などを踏まえ、**圏域内観光に重点化**
- ・ 身近な観光資源の**魅力を再発見**するとともに、**圏域各市町の消費喚起策をつなぎ**、**一元的な情報発信として強化**

2 概要

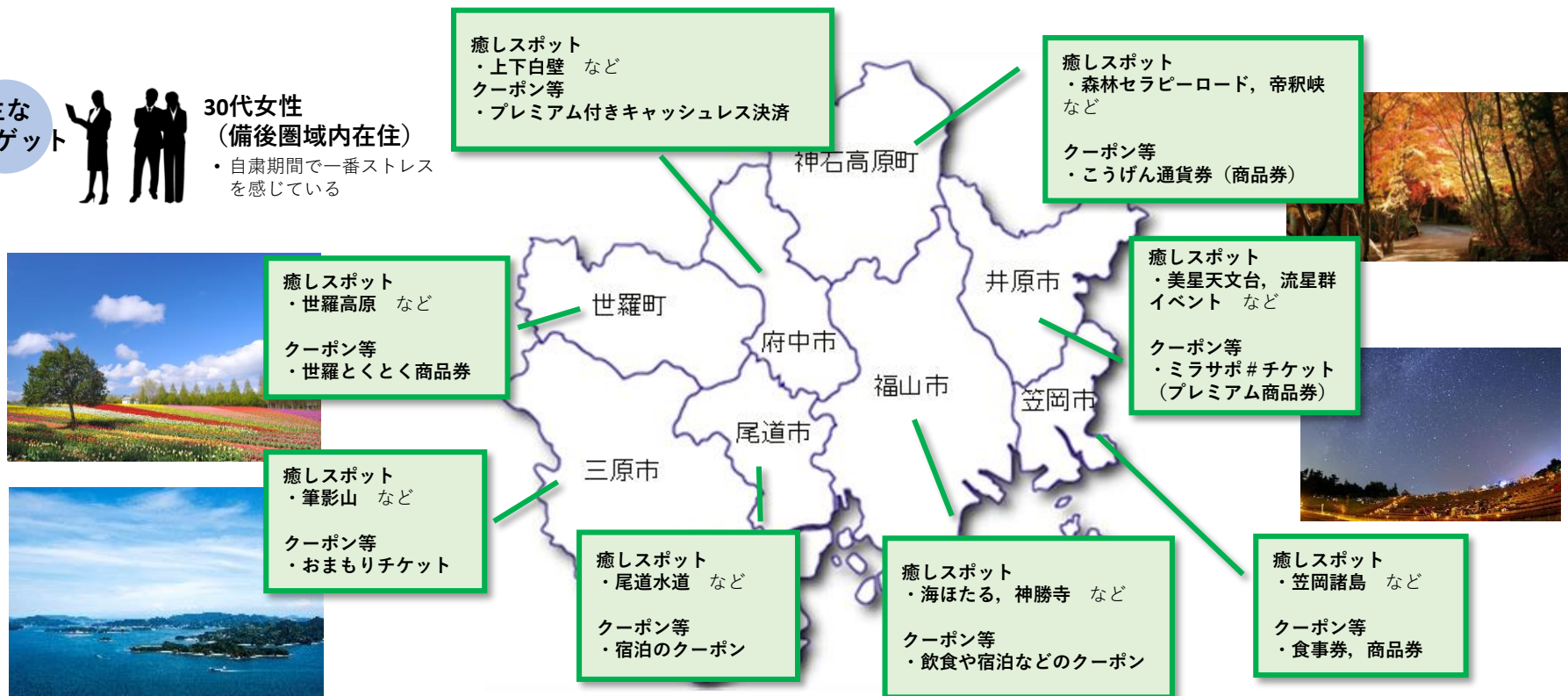
- ・ 圏域住民をターゲットに、**癒しスポット（リトリート）を地域情報誌（月1回連載）や市HP・SNSなどで発信**
- ・ 癒しスポットと飲食や体験などを組み合わせた「**おすすめコース**」も提案（自然+食+体験など）
- ・ **各市町における飲食や宿泊のクーポン**などの消費喚起策も合わせて発信する

主な
ターゲット



30代女性
(備後圏域内在住)

・ 自粛期間で一番ストレスを感じている



(参考) 各市町等における消費喚起の取組



○：行政 ●：商工会議所等

	事業名	事業概要	期間など
1 福山市	○テイクアウト・デリバリー参入応援事業	<ul style="list-style-type: none"> 広告掲載費やデリバリーバイクの購入費などの経費を補助 補助上限額：30万円 	対象期間：4/1～2/28（予算額に到達次第終了） 申請受付：5/18～7/31
	○飲食プレミアムクーポン	<ul style="list-style-type: none"> PayPayを活用したポイント還元キャンペーン 	実施期間：9月以降
	○観光クーポン	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊、土産、体験、交通で使えるクーポンの発行 宿泊クーポン：3,000円、土産クーポン：500円、体験クーポン：500円、交通クーポン：1,000円 	未定
	○WEB物産展	<ul style="list-style-type: none"> インターネットサイトを活用して物産展を開催 	未定
	●福の山おたすけチケット	<ul style="list-style-type: none"> 登録店で利用できる前売りチケットを販売（1枚2,000円＋各店独自サービス付） 	申込期間：5月～11/30 有効期限：各店舗設定
2 三原市	○●三原おまもりチケット	<ul style="list-style-type: none"> プレミアム付チケット（飲食店、美容、お土産など） ※電子チケットも購入可 	販売期間：5/1～7/31 有効期限：無期限
3 尾道市	○おのみちGO!GO!キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店・お土産店で利用できる3,000円のクーポン券の発行（飲食店1,000円×1枚、お土産店1,000円×1枚） 宿泊クーポン2,000円は宿泊代金からの割引 	販売開始：7/20予定 利用期間：7/23～10/1（5,000人泊分がなくなり次第終了）
4 府中市	○テイクアウト・デリバリー参入事業助成金	<ul style="list-style-type: none"> 広告掲載費やデリバリーバイクの購入費など経費を補助 補助上限額：20万円（補助率2分の1） 	対象期間：4/1～10/31までの内、最長3か月間
	○●府中TAKE OUTだより・クーポン（終了）	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店のテイクアウト情報と割引クーポンがついたチラシを作成 	実施期間：5/2～5/31
	○キャッシュレス消費促進キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> PayPay加盟店で決済すると最大20%のPayPayボーナス 	実施期間：8/1～8/31
	○電子マネー利用促進等セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 電子マネー（PayPay）の初心者向け利用促進セミナー（また、マイナンバーカードの申請支援も行う） 	開催日：7/22 定員：15名 参加費：無料
5 世羅町	○世羅とくとく商品券	<ul style="list-style-type: none"> 登録店で利用できる商品券の発行（1冊10,000円 券面1,000円×11枚綴り） 	販売開始：8/30～（20,000冊分がなくなり次第終了） 利用期間：8/30～12/31

	事業名	事業概要	期間など	
6	神石高原町	○●こうげん通貨	<ul style="list-style-type: none"> 商工会発行のこうげん通貨に10%の上乗せ（5,500円分を5,000円で販売） 	販売期間：7/1～（売切れ次第終了） 有効期限：12/31
7	笠岡市	●飲食店応援サイト	<ul style="list-style-type: none"> テイクアウト等の情報を掲載（かさおか元気印事業所） 	掲載期間：5/7～
		○観光応援事業	<ul style="list-style-type: none"> 旅行商品の企画への補助金を交付 	補助期間：令和3年3月31日まで
		○食べて応援買ってエール事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年4月2日以降に生まれた子どもに対して、登録店で利用できる食事券（5,000円分）を配布 	発送日：8月中を予定
		○地元密着きずな商品券事業	<ul style="list-style-type: none"> 市内高校生年代の人に登録店で利用できる商品券（5,000円分）を配布 	発送日：8月中を予定
8	井原市	●飲食店応援サイト	<ul style="list-style-type: none"> テイクアウト等の情報を掲載 	掲載期間：4/22～
		○「ミラサポ#チケット」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングによる支援金額に20%上乗せした商品券を発行（3,600円分、6,000円分、12,000円分） 	募集期間：5/22～7/31 販売期間：6/22～8/20 利用期間：10/1～3/31
広島県	○テイクアウト・デリバリー参入促進（ひろしま産業支援機構）	<ul style="list-style-type: none"> 広告掲載費やデリバリーバイクの購入費などの経費を補助 補助上限額：30万円 	受付期間：5/7～7/31 対象期間：4/1～10/31までの内、最長3か月間	
	○道の駅デリバリー支援	<ul style="list-style-type: none"> 商品掲載や商品企画など販売サイト（さとやま商店500）の活用を支援 	販売期間：6/15～12/31	
	○県産品の販路拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> 特設サイト（ひろしまモール）を開設し、県産品を販売 	販売期間：6/9～12/31	
	○HITひろしま観光応援プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングによる観光事業者への応援支援金を募集 	募集期間：6/9～7/31	
	○ひろしま好きじゃ券	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングによる支援金額に25%上乗せした飲食チケットを発行（6,250円分） 	募集期間：7/20～8/31 利用期間：10/1～12/31	
岡山県	○おかやま自慢！泊まって再発見キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 県内宿泊施設の県民限定の割引クーポンを発行（一人当たり5,000円） 	実施期間：7/3～2/27 対象期間：7/4～2/28（売り切れ次第終了）	
	○Webを活用したマスカット販売	<ul style="list-style-type: none"> 人気特産品がセットになったマスカットの販売フェア 	実施期間：6/15～7/20（特産品が売り切れ次第終了）	
国	○Go To キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 旅行やイベント等を対象とした需要喚起キャンペーン <ol style="list-style-type: none"> ①宿泊割引や施設利用クーポン（一人当たり2万円/泊） ②食事券やイベントチケットの割引券（2割相当分） ③商店街等によるイベント開催、商品開発支援 など 	未定	

特区制度によるエリアマネジメントの共有 ～都市に新たな魅力空間を～

1 目的

- 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する新たな生活様式に対応しつつ、営業回復に取り組む事業者への支援
- 新たな魅力スポットの構築によるビジネス・観光客などの交流や消費活動の促進による経済活動の回復



2 概要

(現状)

- 道路上への机・椅子等の設置は道路管理者と警察の許可制
- コロナウイルス感染症の影響に対応する**国の緊急措置**として、**道路占用許可基準が緩和**(※期限：11月30日まで)
- 国の緩和措置に呼応し、市道における道路占用許可方針を策定
安全な通行の確保を前提に、中心市街地の商店街等と連携して**路上のテラス利用を実現**

(国家戦略特区の活用)

- 事業主体となる民間事業者等と連携し、国家戦略特区の認定申請に向けて県と調整中(広島県・今治市国家戦略特別区域 区域計画の変更)
- **国の認定を受けた個別の事業エリア**において、**道路占用許可の特例制度を活用した新たな魅力空間の創出**



【道路占用による活用イメージ】

(参考) 他の国家戦略特区における道路占用の扱い(北九州市HPより)

国家戦略特区を活用した道路占用

民間事業者等による国家戦略特区の目的に資する事業

継続的な道路占用が可能

道路以外(公園、公開空地等)に使用できる場所があっても
道路占用が可能(無余地性の原則を緩和)

※通常の道路占用の場合

市主催事業など運営に関与している事業

短期的で臨時的、一時的な占用が可能

道路以外(公園、公開空地等)に使用できる場所がないことが原則
(無余地性の原則適用)



新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの共有（家庭編・職場編）

福山市新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン

家庭編

【特色】

- 1 家庭，地域での感染予防対策
- 2 配慮が必要な人（子ども，高齢者，障がい者（児），妊婦）への対策
- 3 新型コロナウイルス感染症に感染した場合の退院までの流れ
- 4 退院後の保健所による積極的健康観察
- 5 人権擁護などの取組

▶ 広報ふくやま臨時号（7月18日（土）発行予定）で概要版を全戸配布

福山市新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン

職場編

【特色】

- 1 事業者による従業員の健康状態の把握
- 2 チームによる職場内でのリスク管理
- 3 情報公開についての考え方
- 4 退院後の保健所による積極的健康観察
- 5 風評被害の払拭の取組 等

オンライン行政サービスの拡充

1 電子申請

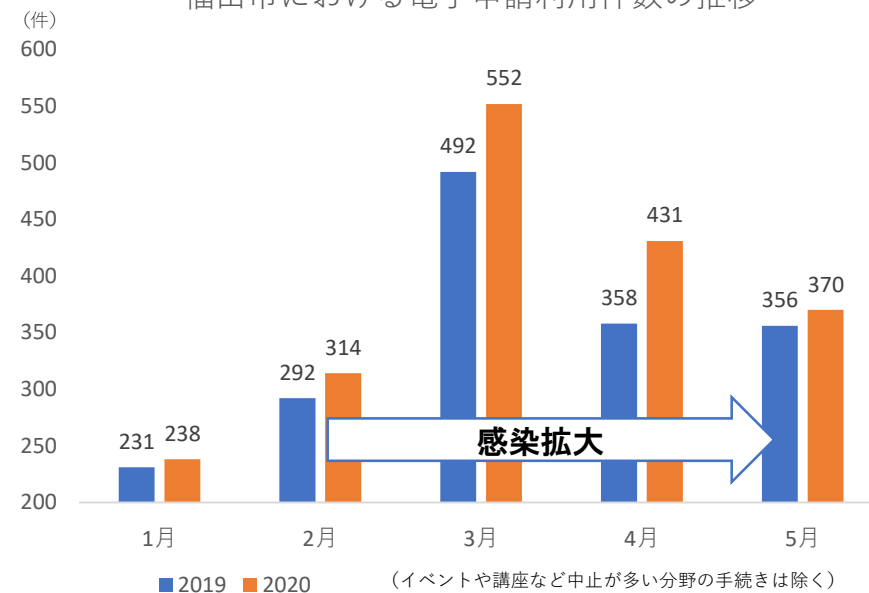
各市町 電子申請の状況

※7月6日時点 HP掲載

	手続数	主な手続き
三原市	19	・ケーブルネットワークの使用料減免申請 ・児童手当現況届 など
尾道市	15	・集団健診申込 ・児童手当現況届 など
福山市	71	・水道使用開始・中止の申請 ・集団健診申込 など
府中市	1	・ふるさと納税の申出
世羅町	0	
神石高原町	1	・「神石高原町ふるさと縁応援隊」登録申込
笠岡市	6	・笠岡市乳がん・子宮頸がん検診の申込 ・公園内行為許可申請書 など
井原市	10	・軽自動車税納税証明書(車検用)交付請求届 ・犬の登録申請 など

※参考

福山市における電子申請利用件数の推移



2 チャットボット

概要：問合せが多い業務に対し、チャットボット（自動会話プログラム）を導入

効果：【市民】来庁・電話不要 24時間の問合せ可能

【行政】問合せ対応業務の減少（業務効率化）

導入 状況

福山市 問合せの多い6業務を導入予定
(ごみの分別や住民票等証明書発行手続き等)

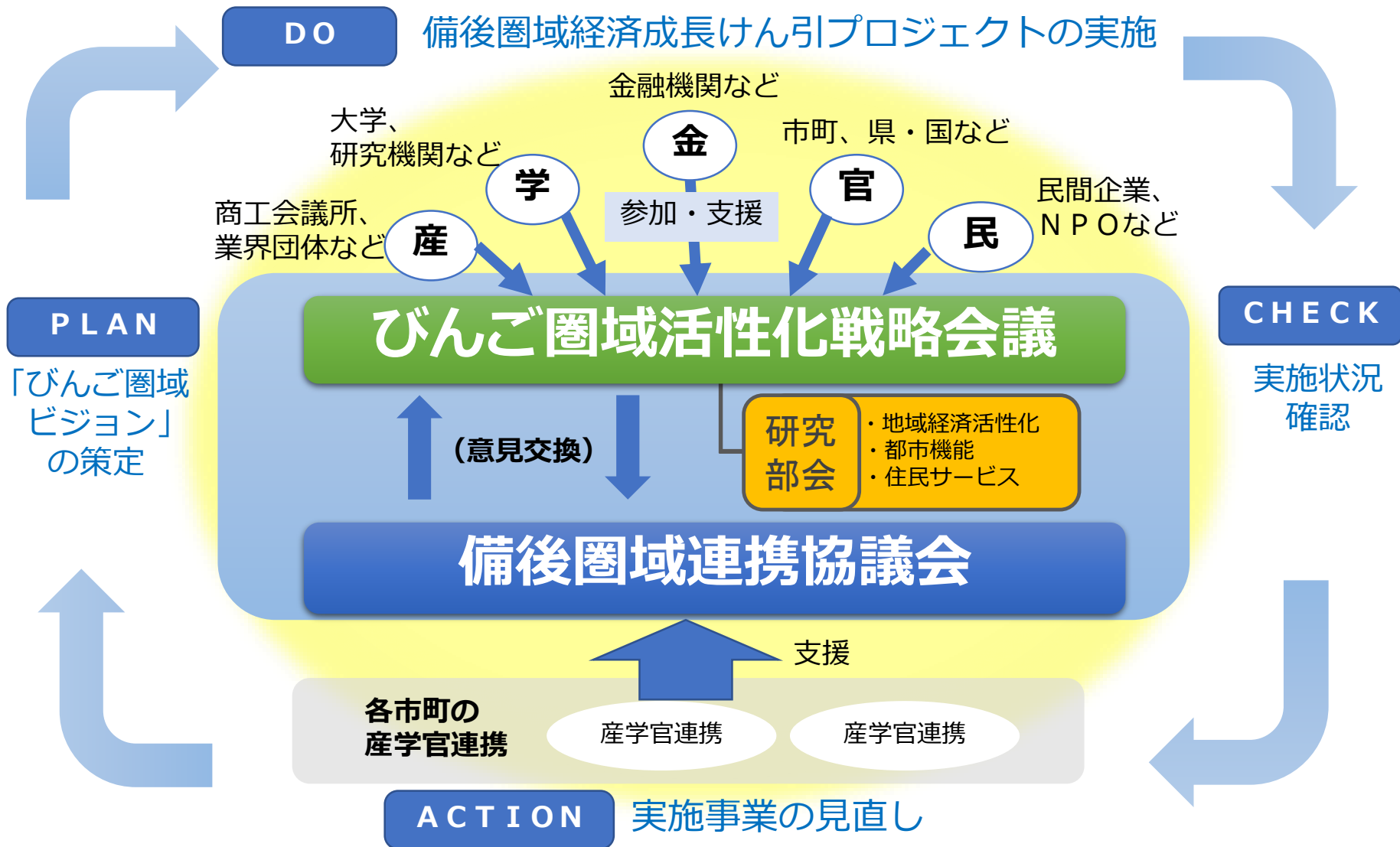
府中市 導入業務を検討中 (今年度導入予定)



イメージ

3 推進体制の強化（研究部会の再編）【報告】

びんご圏域ビジョンの推進体制



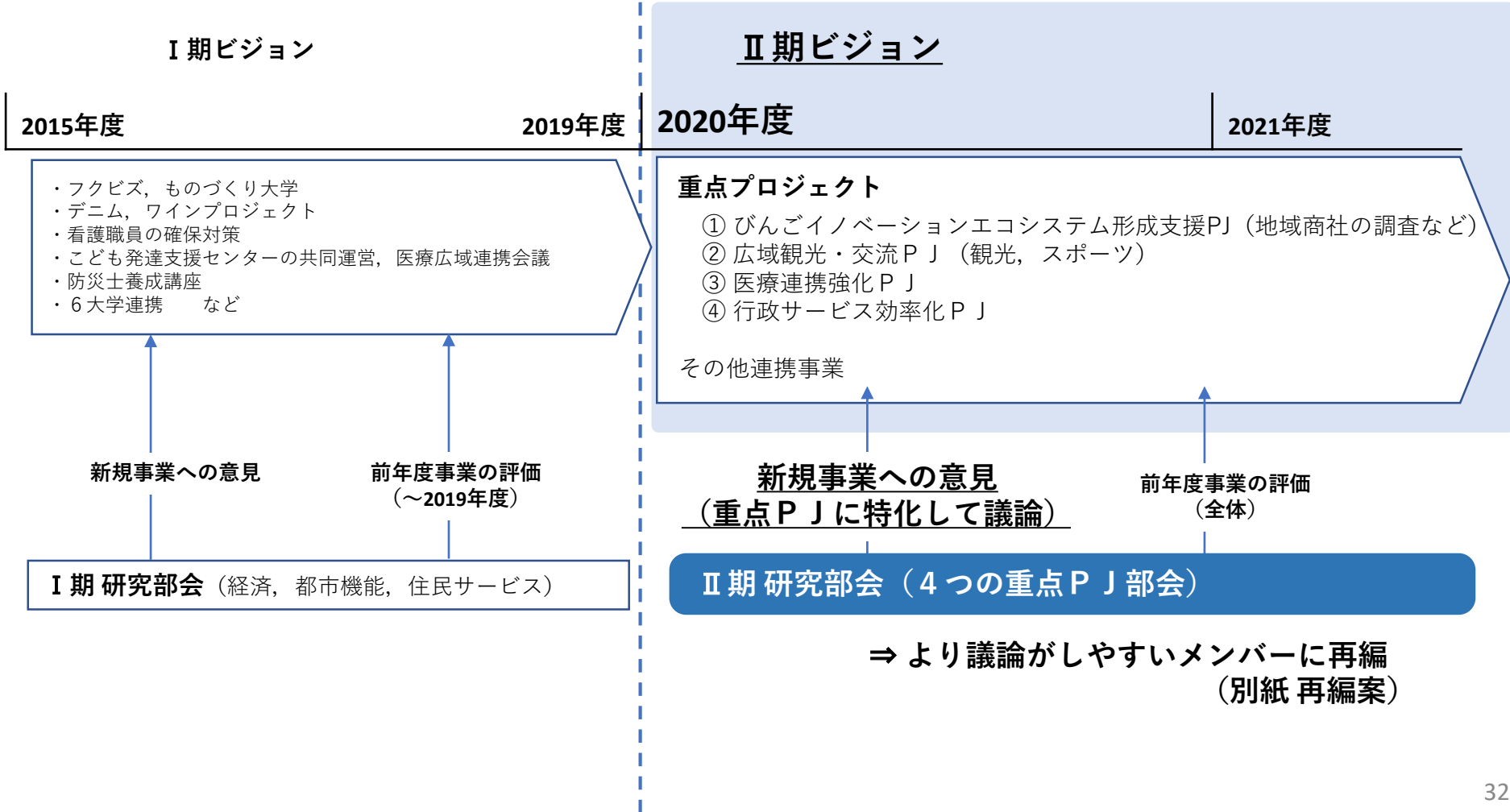
びんご圏域活性化戦略会議 研究部会の再編（案）

1 背景

- 研究部会設立から5年が経過し、連携事業やワーキング等が増加・多様化（研究部会の議論対象が拡大→論点が不明確になりやすい）
- また、第Ⅱ期の圏域ビジョンでは4つの重点プロジェクトに注力するなど、施策展開の形も変化している

2 再編概要

- 研究部会の主な役割である「①新規事業の議論 ②前年度事業の評価」は残しつつ、①を重点プロジェクトに特化する
- そのため、重点プロジェクトを議論しやすい体制に再編する





びんご圏域活性化戦略会議 研究部会 メンバー再編 (案)

～2019年度 ※対象事業：全ての連携事業

2020年度～ ※対象事業：重点プロジェクトに特化

地域経済活性化

- 1 尾道市農業協同組合
- 2 福山市地産地消推進協議会
- 3 農林水産省中国四国農政局
- 4 広島県立油木高等学校
- 5 広島県東部森林組合
- 6 福山商工会議所 青年部
- 7 (有)片岡製作所
- 8 広島県商工会連合会 東部支所
- 9 (公社)福山観光コンベンション協会
- 10 (一社)尾道観光協会
- 11 笠岡市観光連盟
- 12 (株)JTB 福山支店
- 13 福山大学
- 14 尾道市立大学
- 15 福山職業能力開発短期大学校
- 16 (株)広島銀行
- 17 (株)中国銀行
- 18 (株)もみじ銀行
- 19 (株)日本政策金融公庫
- 20 (株)商工組合中央金庫

都市機能

- 1 福山市立大学
- 2 福山大学
- 3 (財)備後地域地場産業振興センター
- 4 (株)北川鉄工所

住民サービス

- 1 県立広島大学
- 2 福山平成大学
- 3 (株)広島銀行 (法人営業部)
- 4 (株)中国銀行 (備後地区本部)
- 5 その他 (社会福祉協議会 (福山市, 井原市), 行政関連部署)

びんごイノベーションエコシステム形成支援P J

地域商社機能の調査分析
フクビズによる創業支援
人材の育成・確保 など

- 1. (株)広島銀行
 - 2. (株)中国銀行
 - 3. (株)もみじ銀行
 - 4. 福山職業能力開発短期大学校
 - 5. 広島県公立高等学校長協会の役員 (府中高校：副会長)
 - 6. (株)北川鉄工所
 - 7. 商工会議所 (圏域内各ブロックから選出「①福山・府中・神石高原」
「②三原・尾道・世羅」「③笠岡・井原」)
 - 8. 同上
 - 9. 同上
- オブザーバー
(議論内容に応じて参加)
・圏域内の既存地域商社

広域観光・交流P J

インバウンド観光の推進
北びんご観光の推進 など

- 1. (公社)福山観光コンベンション協会
 - 2. (一社)尾道観光協会
 - 3. 笠岡市観光連盟
 - 4. (株)JTB福山支店
(広島県東部観光推進協議会会長)
- オブザーバー
(議論内容に応じて参加)
・北びんご観光推進協議会

医療連携強化P J

医療版ワーケーション
医療現場における女性活躍 など

医療連携会議メンバーで議論
(各市町の医療関係部署)

行政サービス効率化P J

AI・RPAの導入 など

※行政内部のプロジェクトのため、研究部会は置かない

